

大子町(だいごまち)

		町章		〒 319-3521 〈住所〉 久慈郡大子町大字北田気662番地 〈TEL〉 0295-72-1111 〈FAX〉 0295-72-1167 〈HP〉 http://www.town.daigo.ibarakijp/ 〈e-mail〉 info@town.daigo.lg.jp		地域指定 過疎 辺地（一部区域） 山振（一部区域） 特定農山村		法人番号 4000020083640	
一部事務組合加入事業 退職手当 消防費補助金 交通共 済 消防災害補償 非常勤公務災 害 市町村会館管理 滞納処分等		公営企業 昭和7年3月31日現在 法適用（上水 特定地 域生活排水）		類型 IV-1		地方公共 団体コード 083640		面積 325.76 km ²	

＜行政組織＞

①長等(令和7年5月1日現在)

長	たかなし てつひこ 高梨 哲彦 (56 歳)	任 期	令和9年1月11日
		就任回数	2 期目
副町長	赤津 康明		

②議会（令和7年5月1日現在）

議 長	大森 勝夫		副議長	須藤 明	
任 期	令和10年3月30日	条例定数	11 人	現議員数	11 人
党 派 別	自民3人、公明1人、共産1人、無所属6人				

③職員数(令和6年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係			公営事業 会計関係	
	うち一般行政関係				
253	224	161		29	
一般行政職の 平均給料月額	2,999 百円	ラスバイレ ス指数	98.8	地域手当 補正後 ラス指数	98.8
全職員数 の 推 移	令和3年4月1日	令和4年4月1日		令和5年4月1日	
	246	247		251	

④機構図(令和7年4月1日現在)

〈町長〉 一 〈副町長〉
 総務課
 まちづくり課
 財政課
 税務課
 農林課
 観光商工課
 建設課
 福祉課
 健康子ども政策課
 生活環境課（環境センター、衛生センター）
 町民課

 〈会計管理者〉
 会計課

 〈消防本部〉
 消防課、警防課、予防課、消防署

 〈水道事業〉
 水道課

 〈教育委員会〉
 教育委員会事務局

 〈農業委員会〉
 農業委員会事務局

 〈行政委員会〉
 選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会

 〈議会〉
 議会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年3月31日 合併
 大子町 依上村 佐原村 黒沢村 宮川村
 生瀬村 袋田村 上小川村 下小川村の一部

②地勢・風土等

茨城県の最北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県に接するやや南北に長いほほひし形の形をした広大な町である。面積の約8割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地である。気候は低温多雨の寒暖の差が大きい山岳気候で、この特性を生かしてお茶、りんご、こんにゃく、お米などの多くの特産物が生産されている。日本三瀑の一つ袋田の滝をはじめ、県内最高峰の八溝山や男体山の秀峰、久慈川の清流、奥久慈温泉郷などの自然資源に恵まれた山紫水明の地で、年間80万人の観光客が訪れる観光と農林業の町である。

③人口・世帯数

区分		国勢調査			常住人口 (令和7年4月1日)
		平成22年	平成27年	令和2年	
人口	男	9,780	8,765	7,692	6,750
	女	10,293	9,288	8,044	6,920
	合計	20,073	18,053	15,736	13,670
世帯数		7,140	6,733	6,356	5,996

④有権者数(令和7年3月3日現在) ⑤高齢人口割合 (R7.1.1住基人口)

有權者數	男	女	計	老齡人口割合
	6,579	6,589	13,168	49.6 %

＜産業・経済＞

①生産・所得(令和4年度)

市町村内 総生産	521 億円	住民所得	402 億円
		人口1人当り住民所得	2,692 千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(令和4年度)		就業人口(令和2年国調)	
第1次	3,396	6.5 %	1,113	14.6 %
第2次	13,827	26.5 %	2,306	30.2 %
第3次	34,361	65.9 %	4,220	55.2 %
総額・総数	52,118	—	7,639	—

③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	1,676	103	1,615
製造業 (令和5年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R4.1.1～12.31)
	43	826	16,155
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R3.1.1～12.31)
	241	1,065	13,447

④特産物

大子産米、奥久慈茶、奥久慈りんご、奥久慈大子こんにゃく、常陸大黒、奥久慈しゃも、久慈川の鮎、大子漆(うるし)、大子那須楮(こうぞ)、八溝材

＜財政状況＞

①決算収支 (千円・%)

区分	令和4年度決算	令和5年度決算	増減率
歳入	13,212,265	13,614,697	3.0
歳出	11,667,582	12,213,987	4.7
形式収支	1,544,683	1,400,710	-
実質収支	1,213,728	1,202,999	-
単年度収支	△ 202,461	△ 10,729	-
実質単年度収支	△ 201,603	△ 75,007	-

②主な歳入・歳出(令和5年度) (百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	13,615	—	403	3.1
地方税	1,817	13.3	110	6.4
地方交付税	4,201	30.9	△ 79	△ 1.8
国庫支出金	2,263	16.6	699	44.7
地方債	919	6.7	△ 610	△ 39.9
うち臨財債	31	0.2	△ 39	△ 55.7
その他	4,415	32.5	283	6.8
うち繰入金	416	3.1	△ 189	△ 31.2
歳出	12,214	—	546	4.7
義務的経費	4,512	37.0	59	1.3
人件費	2,040	16.7	70	3.6
扶助費	1,342	11.0	△ 32	△ 2.3
公債費	1,130	9.3	21	1.9
投資的経費	2,954	24.2	387	15.1
普通建設事業費	1,348	11.0	△ 1,119	△ 45.4
うち補助	423	3.5	85	25.1
うち単独	863	7.1	△ 1,154	△ 57.2
その他の経費	4,748	38.8	100	2.2
うち繰出金	962	7.9	10	1.1

③主要指標(令和5年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.26)
連結実質赤字比率	- % (19.26)
実質公債費比率	4.0 % (25.0) [6.6]
将来負担比率	49.3 % (350.0) [23.3]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和6年度)	0.324	[0.670]
経常収支比率	91.6 %	[92.6]
標準財政規模(令和6年度)	6,541 百万円	[16,772]
地方債現在高(A)	11,114 百万円	[25,447]
債務負担行為支出予定額(B)	1,396 百万円	[4,978]
積立金現在高(C)	3,717 百万円	[7,929]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	8,793 百万円	[22,496]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和5年度) (千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	548,183 (26.7)	531,804 (29.3)	97.0 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	72,780 (3.5)	71,464 (3.9)	98.2 [98.6]
固定資産税 (構成比)	1,232,079 (59.9)	1,013,819 (55.8)	82.3 [97.3]
市町村税合計 (国保除く)	2,056,204	1,817,402	88.4 [97.4]

＜公共施設整備状況＞(令和5年度) ※1は令和6年度

小学校 ※1	6 校	体育館	3 か所
中学校 ※1	4 校	プール	0 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	10 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	8 か所
認定こども園 ※1	0 園	道路改良率	40.9 %
図書館	0 か所	道路舗装率	66.3 %
公営住宅	220 戸	上水道普及率	99.3 %
公民館等	3 か所	污水处理普及率	61.3 %

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況 (百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
中心市街地排水 処理施設整備工 事	R7	中心市街地の排水の流末部にあたる旧 役場跡地に内水対策として排水ポンプ、 貯留槽を整備し、市街地の浸水被害を防 止する。	118
まちなか防災ス クウェア整備工 事	R6 ～ R8	旧役場周辺における防災対応型観光交 流施設整備に合わせ、まちなかの交流の 場や賑わいを創出する拠点として防災ス クウェアの整備工事を実施する。	486
観光交流施設建 築工事	R7 ～ R8	大子まちなかビジョンに基づき、県による 防災道の駅整備に合わせ中心市街地の 賑わいの創出と防災力強化を図るため、 観光交流施設の整備を実施する。	546
AI乗合タクシー 運行业務	R7	町民及び観光客の移動手段を確保する と共に地域経済の活性化を図るため、令 和3年10月から本格運行を開始。利用者 数が増加していることから、車両の増車と 運行日の拡大を行う。	53
OSAKA KANSAI JAPAN EXPO2025 魅 力発信事業	R7	大阪・関西万博会場で開催される「地方 創生SDGs フェス」に町の林業に関する 体験型展示を出展し国内外に町のPRを 実施する。	8

②今後の主要課題・特色ある行政等

1 まちづくりの基本姿勢 ・「住むことを誇れるまち」をつくる。 ・「地域経済の維持・発展」を支える。 ・「オール大子町」で進める。
2 将来像 ・豊かな資源をつむぎ 人々が豊かに暮らし、訪れるまち 奥久慈に輝く日本一幸せな DAIGO
3 分野目標 ・安全・安心・快適なだいが(生活環境分野) ・健やかでやさしいだいが(保健・医療・福祉分野) ・豊かでにぎわいあふれるだいが(産業分野) ・明日を担う人を育むだいが(子育て・教育・文化分野) ・未来への基盤が整っただいが(都市基盤分野) ・みんなで作るだいが(協働・行財政分野)